串間市立図書館新刊情報

一般書　12月号

【内容紹介】
ラクに走るポイントは3つの部位を意識すること!カラダが軽くなるランニング・メソッドをはじめ、速く走るためのポイント、強く美しいカラダになる食材、ボディケアの方法を紹介する。動画が見られるQRコード付き。

【内容紹介】
海鮮ちらしずし、ラップにぎり、サラダずし、手巻きずし…。東京・谷中の人気すし店の三代目が、ホムパや手土産、わが家で楽しむ55レシピと、おすし屋さんのプロの技を伝授する。すし飯で作るアイディアつまみなども収録。

【内容紹介】
時間も手間もかけずに、本格的な定番おせちが作れる簡単レシピと、和風ローストビーフ、サーモンのかぶら蒸しなど、もてなし肉料理、魚料理、鍋料理や酒肴などのレシピを紹介。お正月にふさわしい盛りつけ術なども掲載する。

【内容紹介】
「ただいま動線」は、家の秩序をつくる。「床こそ、インテリアの第一歩」と考える。家事は終わりの時間を決めて−。元祖スーパー主婦・山崎美津江が、片づく家の「生活メソッド」を、写真を交えて紹介します。

【内容紹介】
知り合いに会いたくない服は持たない。「とりあえず」は敵。物の量が家事の量。いらないものを捨てないから、大事なものが見つからない−。「捨てたい気持ち」を後押ししてくれる格言を紹介します。

【内容紹介】
相続鑑定士の三津木六兵の右肩には、頭脳明晰な人面瘡のジンさんが寄生している。山林王の当主が亡くなり、相続人が次々に不審死を遂げた。ジンさんの指示を受け事件を追う六兵が辿り着いたのは…。『きらら』連載を加筆改稿。

【内容紹介】
ペンネーム変更にもつながった日々の出会いへの感謝、「コロボックル」ほか愛する本たちへの想い、ネット時代の言葉について綴った作家・有川ひろ(有川浩)のエッセイ集第2弾。小説「サマーフェスタ」「彼女の本棚」も収録。

【内容紹介】
ひとなり。生きたらよか。今日も精一杯生きたらよか。誰はばかることなく生きたらよか…。辻仁成が自身と母の半生とともに母の人生訓を綴る。生きる力となる優しくて強い珠玉の言葉が満載。

【内容紹介】
角田光代のエッセイ集。半生を振り返る回想から、愛してやまない忌野清志郎論、シャネルNo5のドキュメント、そして、恋愛と結婚、美味しい旅の記憶までを鮮やかに描く。ほか、短篇「それぞれのウィーン」も収録。

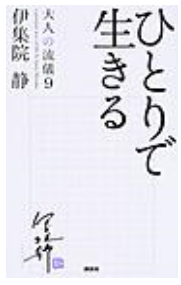
【内容紹介】
主を討った明智光秀、極悪の者と忌み嫌われた松永久秀、父を死なせ弟を殺した伊達政宗−。歴史の流れの中で、理想や志と裏腹な決意をせねばならなかった男たちの、後悔と無念の人生を描く。『オール讀物』掲載を単行本化。

【内容紹介】
まさか自分も「がん患者」になろうとは…。当直中に自分の膀胱がんを発見したがん専門医が、一人のがん患者となってあらためて気づかされたこと、治療、その後の心境などを綴る。

【内容紹介】
平成の天皇が夕食の席で側近に退位の意向を吐露してから、改元、新天皇の即位までの全真相。読売新聞政治部が、2019年5月1日の皇位継承に伴う新元号「令和」が制定されるまでの政治の動きを追ったドキュメント。

【内容紹介】
皇室ゆかりの社寺、由緒正しい神社、元号がつく寺院…。京都の社寺を様々なテーマで紹介。グルメ情報も充実。電子書籍をダウンロードできるQRコード、取り外せる2大付録付き。データ:2019年6〜7月現在。

【内容紹介】
長崎の油商・大浦屋の女あるじ、お希以(のちの大浦慶)は無鉄砲にも異国との茶葉交易に乗り出した。やがて明治という時代に漕ぎ出したお慶だが、思わぬ逆波が襲いかかる−。『朝日新聞』連載に加筆修正し単行本化。



【内容紹介】
ひとりで生きることは、一見淋しいものに思えるが、実は美しい人間の姿であるのかもしれない…。日々の思いをつづったエッセイ集、第9弾。『週刊現代』連載を抜粋・修正して単行本化。